

(様式1) 新規評価総括表

事業種類	治山・砂防		事業名	山地治山								林務部 森林づくり推進課						
	番号	市町村名		(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価					部局意見	技術管理室意見		申請	採択	備考
								必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度		総合評価	現地調査			
	1	さくし 佐久市	こみやまほか 小宮山他	山腹工0.25ha 谷止工1個 床固工1個 森林整備0.77ha	257,000	H33	B	A	A	A	B	A	当該地は、地質が脆弱な荒廃森林(崩壊地、荒廃渓流)であり、H28年7月に落石が発生し直下の町道や人家に被害が発生している。今後、落石や不安定土砂の流出等により、下方道路や人家に被害が生じる恐れがあるため、①山腹工、②床固工、及び③森林整備等の対策工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
	2	すわし 諏訪市	みなみきわ 南沢	谷止工3個 護岸工60m 森林整備2.00ha 簡易治山施設1式	50,000	H31	A	A	A	A	B	A	平成18年7月豪雨や平成21年8月豪雨等により、渓流の荒廃が進行するとともに、森林の質が低下していることから、放置すれば今後の豪雨等により下流の人家や高速道路に土砂が流出する恐れがあるため対策工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
	3	しもまわまち 下諏訪町	こもかわ 菰川	山腹工0.08ha 森林整備3.0ha	32,000	H31	A	A	A	A	B	A	H29年5月の豪雨により土砂の流出や落石、倒木が発生している。下方に人家や町道があり対策工事を行う必要がある。	事業実施時あたっては、安全で安心な県民生活を確保するために、適切な対策工事を検討すること。	○	○	○	
	4	なかがわむら 中川村	にしした 西下	山腹工0.06ha	47,000	H31	C	A	A	A	B	B	主要地方道上部には、落石の恐れがある岩盤が多く、落石が頻発している状況である。この道路は大鹿村方面からの重要な生活道路であるとともに、リニア中央新幹線関連工事の工事車両が多い路線であることから、山腹工による落石対策工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
	5	あげまつまち 上松町	ふるたござわ 古田小沢	谷止工1個 山腹工0.45ha	230,000	H34	A	A	B	A	B	A	当該地内では、崩壊地や渓岸の侵食により生産された土砂が下流に流出しており、今後の降雨等に伴う拡大崩壊により、下方国道、JRに被害を及ぼす恐れがあるため、対策工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
	6	いさかわむら 生坂村	いけきわほか 池沢他	山腹工0.30ha 谷止工1個 谷止工嵩上1個	109,800	H32	A	A	A	A	B	A	当該地区は平成27年9月の豪雨により拡大崩壊するとともに一部施設が破損した。また、過去に施工された施設の老朽化が発見され、損壊すれば下流の人家や国道等に土砂が流出する恐れがあるため、施設の機能維持・増進工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	○	○	○	
	7	はくむら 白馬村	わびびいらほか 蕨平他	山腹工1.60ha 谷止工嵩上1個	180,000	H33	B	A	A	A	B	A	当該地は、近年の豪雨等により山腹の拡大崩壊や渓流内の不安定土砂の堆積、地すべりの再滑動などが発生している。今後の降雨等による土砂の流出や既存の治山施設の機能低下により下方保全対象への被害が発生する恐れがあるため、既存の治山施設を有効活用した機能強化対策を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
	8	ながのし 長野市	さいまた 財又	谷止工3個 護岸工28m	135,000	H33	C	B	B	A	B	B	H29年8月の豪雨災害により土石流が発生し、渓流沿いの市道及び下方の県道に土砂が流出した。渓流内にはまだ土砂が堆積していることから、今後の降雨等により市道の被災や下方の人家や県道へ土砂が流出する恐れがあることから、対策工事を実施する必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	

(様式1) 新規評価総括表

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山						林務部 森林づくり推進課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部局意見	技術管理室意見	現地 調査	申請	採択	備考
						必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
9	ながのし 長野市	そがかわ 蔵ヶ川	谷止工7個	55,000	H33	C	A	B	A	B	B	H29年8月の豪雨災害により土石流が発生し、市道に土砂が流出した。溪流内にはまだ土砂が堆積していることから、今後の降雨等により下方の人家や市道へ流出する恐れがあることから、対策工事を実施する必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
10	いよいよ 飯山市	いでがわ 井出川	谷止工1個 山腹工9.80ha	900,000	H34	C	A	B	A	A	A	H29年5月の融雪により山腹崩壊が発生し土石流が発生した。崩壊地下方において、災害関連事業により緊急対応を行っているが、発生源である山腹内には不安定土砂が堆積しているため、対策工事を行う必要がある。	部局の意見を適当と認める。	-	○	○	
合 計			10箇所	1,995,800													

* 県単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。